

平成 31 年度 社会福祉法人春献美会 かけがわのぞみ保育園事業計画

平成 29 年度、30 年度と「みんなでつくる保育園」をテーマに取り組み、保護者のみなさんの意見や協力をたくさんいただくことができました。「保育参加」も定着し、毎日の保育の様子を体験していただくことで、より園に対する理解も深まったと思います。地域の方々を招いた行事も多くの方に参加いただきました。

また、「希望の丘」内の事業所と合同で「避難訓練」「防犯訓練」を行い、様々なシチュエーションを想定し、「実のある訓練」となるよう協議を重ねてきました。

平成 31 年度は、反省を踏まえ、更なる向上を目指し、より良い保育の提供に努めていきます。

1 施設運営

(1) 児童の処遇

ア クラス編成

クラス名	年齢	常勤保育士数	園児数	備考
きのこ	0 歳	3	6	
きいちご	1 歳	3	18	
どんぐり	2 歳	4	21	
まつぼっくり	3 歳	2	21	
かえで	4 歳	1	23	
さくら	5 歳	1	24	
フリー保育士		1		
合計		15	113	

イ 月別保育予定日数

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	合計 291 日
24	23	25	26	26	23	
10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	
26	24	24	23	22	25	

ウ 健康管理

子ども一人ひとりの発育発達の個人差（個性）を考慮しながら、健康な生活習慣を身に付け、豊かな成長が遂げられるよう積極的に次の点に取り組みます。

- [1] 日常養護・健康管理
- [2] 病気の予防と早期発見
- [3] 安全と事故防止
- [4] 健康増進と保健指導
- [5] 環境衛生

年間保健行事

保健行事	対象年齢
内科健診	全園児（年2回）
視力検査	4歳児（年1回）
歯科健診	全園児（年1回）

エ 保育方針

- ・あたたかい見守りの中で心地よく過ごせる環境を提供していく。
- ・ひとりひとりの良さを伸ばせるように育ちを援助していく。
- ・家庭との連携を密にして信頼関係を作り、子育ての楽しさを共感しあう。
- ・地域・保育園・家庭が支えあって子育ての輪を広げていく。

オ 各組の保育目標

さくら組（5歳児）の年間目標

- ・基本的生活習慣や態度を身に付けその大切さを理解して行動する。
- ・様々な人との関わりの中で社会生活に必要な態度を身に付ける。

かえで組（4歳児）の年間目標

- ・友だちと思いを伝え合いながら関係を深め、集団で活動することを楽しむ。

まつぼっくり組（3歳児）の年間目標

- ・保育者や友だちと遊ぶ中で、自分の要求や主張を言葉や行動で表現する。
- ・生活の流れに見通しをもち、基本的な生活習慣を身につける。

どんぐり組（2歳児）の年間目標

- ・保育士との安定した関わりの中で身の回りの事を行い、自分で出来る喜びを感じる。
- ・色々な体験を通して、言葉が豊かになり自分の思いや気持ちを言葉で表現したりやりとりを楽しんだりする。
- ・保育士の仲立ちによって、模倣遊びやごっこ遊びを楽しみながら友達との関りを広げる。

きいちご組（1歳児）の年間目標

- ・自分の思いを身振りや言葉で相手に伝えようとする・排泄、着脱、食事などの簡単な身の周りの事を自分でやろうとする
- ・保育者が仲立ちとなり友だちと一緒に楽しく過ごす・いろいろな遊びを経験する中で好きな遊びを見つけ十分に楽しむ

きのこ組（0歳児）の年間目標

- ・安心できる保育者や物的環境の下で生活リズムが整い、安定して過ごす。

カ 主な行事予定

別途添付

キ 食事

[1] 目標『楽しく食べる子』に育てる。

配慮事項 薄味、和風献立に心がける。
旬の素材を使った献立作りを心がける。
見た目においしく、食べておいしい食事づくりを心がける。
保護者との連携を密にする。

[2] 食育

毎月 予定献立表の配布をする。
給食だより かけがわのぞみ保育園の食事の紹介や栄養情報などをまとめ、月1回発行する。
食を考える 月1回の給食会議にて、献立についての感想や反省、改善などや提供された食事への感想・反省、改善案などを出し合い、おいしく子どもの健康維持のための食事作りを進めていきたい。また、食育を含め食全般についての研修、話し合いの場として行きたい。
展示食 玄関に、その日の給食の見本を展示する。

[3] 衛生管理

衛生チェック表を作成し、毎日衛生項目にそって確認している。
調理人の細菌検査(毎月1回) 調理室・乳児調理室の掃除、ワゴン清掃(毎日)、冷蔵庫消毒、食器洗浄後熱風庫にて保管原材料・調理済み食品の保存(2週間)をしていく。

[4] 離乳食に関して

個人差を考え、無理のない離乳を進めていく。1歳児の食事に関しては、離乳食(完了食)後、間もないので7か月までは、そのまま離乳食(完了食)を準備し、さらに充実させていく。アレルギー児の「食物除去」も、それぞれの子どもの症状により対応し、医師の意見を基に必要により除去解除できるようにしていく。

<離乳食の進め方>

- ① 食べ易い形で・・・子どもの状態にふさわしい形状で提供。発達に応じて手づかみ食べを十分にし、咀嚼を十分に経験できるようにする。
- ② 栄養と食品のバランスを考えて・・・準備期は別として、ある程度進んだら離乳食の中に穀類・タンパク質類・野菜の三種類を合わせる。
アレルギーをおこしやすい卵については、中期食迄使用しない献立にする。
- ③ ③薄味で・・・調味料をできるだけ使わず、素材の味を生かして調理する。

ク 安全管理

非常災害時の避難訓練（毎月）

(2) 職員の処遇

ア 職員構成

園長	1名
主任保育士	1名
保育士	13名
調理員	3名（栄養士含む）
看護師	1名
事務員	1名
嘱託医	2名（非常勤）
非常勤、パート	3名

イ 健康管理

健康診断 1年 1回

細菌検査 毎月

ウ 職員会議

- ・職員全体会議毎月1回
- ・クラス会議週1回
- ・幼児会議毎月1回
- ・乳児会議毎月1回
- ・給食会議毎月1回

エ 研修計画

別途添付

オ 退職・福利厚生

- ・福祉医療機構退職共済制度加入
- ・整体
- ・小笠掛川勤労者福祉サービス加入

2 施設管理

(1) 事務関係

ア 会計事務、管理事務

イ 児童処遇事務（保育、給食、健康管理）

(2) 設備関係

- ・園庭南側フェンス上ネット設置工事（防犯対策事業補助金利用予定）

(3) 備品関係

- ・備品購入予定
災害用テント等（施設設備強化加算利用予定）

(4) 災害対策

ア 避難訓練

- 毎月1回
内、引き渡し訓練1回

イ 不審者対応訓練

- 年2回

ウ 防災設備の点検委託

- 年2回（内、届け出1回）

エ 非常食糧の備蓄

- （全児童数＋全職員数）×3食×3日分

3 保護者にむけて（保育への理解と協力の促進）

ア 保育参加・参観

保育参加は6月～10月及び1月とし、希望の保護者の参加を受け入れる。
年1回の参観会、夏まつり、運動会、発表会は参加と参観に充てます。

イ お知らせ

- ・園だより毎月1日に発行
- ・クラスだより毎月1回以上発行
- ・保健だより毎月1日に発行
- ・給食だより・献立表毎月1回発行

4 地域社会との連携

- ・親子が気軽に「屋根のある公園」のように集える場とする。
- ・子どもが安心してのびのび遊べる場となるよう、園庭開放や園行事にも積極的に参加できる場とする。
- ・地域住民が様々な形で自由に参加し、相互関係、交流を深め、地域の中で育つ子ども環境を醸成する。

《園庭開放》

- ・地域の子育て中の保護者を対象に毎週水曜日に園庭開放を行い、親子の交流、保育士との交流、園児との交流を図れるようにする。その中で育児相談なども受けることができるようにもする。

《その他》

- ・保育園でボランティアを常時受け入れる体制を整える。
- ・地域を意識して町内会の一員となり、関係を築いていく。
(世代間交流)
- ・地域の小学校・中学校・高等学校と連携を持ち、ボランティア・お仕事体験・子育てボランティアの育成を積極的に受け入れる。

<情報提供収集による支援>

- ・園便り、クラス便り、また関係機関（市役所、徳育保健センター）等からの情報を掲示板に張り出し、子育て中の親子に提供する。
- ・園外（地域など）から意見も取り入れられるように民生委員会や保健福祉センターとの連携や利用者から寄せられる情報を把握する。

<園内活動への参加>

- ・随時寄せられる育児相談（電話・来園）に対しても温かく対応し園長、主任が親身になって対応する。
- ・園庭開放を行い、気軽に園児との交流ができるよう気持ちよく迎え入れる。